

#### 4 ひえ新品種「赤ひえ（青刈り用）」（農試県北分場）

「赤ひえ」は栄養成長量が旺盛で、茎葉生産量も多く、耐湿性が強いことから、とくに転作田で青刈り用として好適する。

##### (1) 来歴

「赤ひえ」は栃木県黒磯地方の在来種で、昭和38年に東北農試が栃木農試黒磯分場から取寄せ、青刈り特性調査の結果、有望視し品種保存していた。

昭和47年に岩手農試が分譲を受け、昭和50年に生産力検定試験に供試し、多収であった。昭和54～55年に県北分場で水田転換作物として、収量ならびに特性について調査した結果、成績が良好と認められた。

##### (2) 特性概要

###### 1) 形態的特性

草丈は飛騨在来と同程度かやや高く、草姿はほぼ類似する、生草・乾物収量が優れ穂数はほぼ同程度、子実は大粒で千粒重は重く多収。

###### 2) 生態的特性

出穂期・成熟期は飛騨在来より5～10日ほど早い。耐倒伏性はやや強く、穂は太く長い。粒は褐色で脱粒性は難である。

###### 3) 品種の特性表

項目	産地	栃木県黒磯在来	栃木県栗野在来	岐阜県飛騨在来	岩手県北地方在来
	品種	赤ヒエ～1	栗野在来	(標準)飛騨在来	(参考)ヤリコ
1 早晚生		晩の早	晩	晩の中	早
2 出穂期(月・日)		8.16	8.31	8.27	7.30
3 成熟期(月・日)		9.24	10.12	10.4	8.21
4 草丈(cm)		241	256	237	178
5 桿長(cm)		210	222	201	164
6 穂長(cm)		21.9	22.2	22.6	12.2
7 茎数(本/m <sup>2</sup> )		134	126	150	216
8 穂数(本/m <sup>2</sup> )		111	103	113	169
9 倒伏		やゝ強	強	中	中
10 生草収量(kg/a)		711	711	661	356
11 乾物収量(kg/a)		187	189	156	112
12 子実重(kg/a)		63.9	40.2	42.8	33.2
13 千粒重(g)		4.9	3.8	4.0	3.9
14 粒色		褐	褐	褐	白
15 脱粒難易		難	難	難	易
調査地	岩手県農試県北分場				
年次	昭和54年度				
栽培密度	条間25cm, 株間14cm (28.6株/m <sup>2</sup> )				

(3) 試験成績の概要

水田での試験成績（県北分場）

1) 昭和54年度の成績（手植）

(ア) 試験方法

播種：箱育苗～播種期5月7日，播種量～40g/箱

移植：6月6日（1株3本手植）

栽植密度：条間25cm，株間14cm，28.6株/m<sup>2</sup>

本田施肥量（kg/a）：N～0.6，P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>～2.0，K<sub>2</sub>O～1.0

除草：移植後26日，MO粒剤0.4kg/a

刈取り時期：早刈り～8月3日，遅刈り～9月10日（穂揃）

(イ) 試験成績

① 早刈り～生育収量調査

品種名	項目	草丈 (cm)	生草重 (kg/a)	同左標 比 (%)	乾物率 (%)	乾物重 (kg/a)	同左標 比 (%)	倒伏
1. 標飛驒在来		170	510.2	100	13.3	67.9	100	無
2. 白ヒエ		186	607.1	119	13.3	80.7	119	〃
3. 那須5号		163	413.3	81	15.4	63.6	94	〃
4. 赤ヒエ～1		184	648.0	127	13.8	89.4	132	〃
5. 粟野在来		186	540.8	106	14.9	80.6	119	〃

(注) 種子の不足から水田に準じて箱育苗後，1株3本立の手植にした。

② 遅刈り～生育収量調査

品種名	項目	草丈 (cm)	生草重 (kg/a)	同左標 比 (%)	乾物率 (%)	乾物重 (kg/a)	同左標 比 (%)	倒伏
1. 標飛驒在来		234	660.7	100	23.6	155.9	100	中
2. 白ヒエ		224	764.3	116	25.1	191.8	123	多
3. 那須5号		218	650.0	98	26.0	169.0	108	多
4. 赤ヒエ～1		227	710.7	108	26.3	186.9	120	無
5. 粟野在来		246	710.7	108	26.6	189.0	121	無

2) 昭和55年度の成績（機械移植）

(ア) 試験方法

播種：箱育苗～5月29日，播種量～40g/箱

移 植：機械移植～6月20日

栽植密度：条間30cm, 株間13cm (25.6株/m<sup>2</sup>)

施肥量：箱(9/箱) N~2, P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>~3, K<sub>2</sub>O~2

本田(kg/a) 標肥 N~0.6, P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>~2.0, K<sub>2</sub>O~1.0

多肥 N~0.9, P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>~2.0, K<sub>2</sub>O~1.0

(1) 試験成績

① 生育調査

品種名	草 丈 (cm)						出穂期 (月・日)	倒 伏
	7. 11	7. 31	8. 11	8. 21	9. 12	9. 24		
1. 標飛驒在来	33	87	108	130	170	176	9. 17	少
標 2. 白 ビ エ	31	85	104	130	166	173	9. 8	多
3. 那須5号	32	88	109	136	179	183	9. 17	少
肥 4. 赤ヒエ~1	33	89	108	127	173	176	9. 15	無
5. 粟野在来	35	94	118	151	197	200	9. 22	無
6. 標飛驒在来	38	101	121	147	186	193	9. 17	少
多 7. 白 ビ エ	34	104	128	157	202	196	9. 8	多
8. 那須5号	36	110	136	164	206	208	9. 17	少
肥 9. 赤ヒエ~1	37	118	144	175	209	211	9. 15	無
10. 粟野在来	39	121	158	194	224	233	9. 22	無

② 収量調査

品種名	草 丈 (cm)	茎 数 (本/株)	生草重 (kg/a)	同左標 比 (%)	乾物率 (%)	乾物重 (kg/a)	同左標 比 (%)	稈 の 硬 軟
1. 標飛驒在来	176	5	651.3	100	21.7	141.3	100	中
標 2. 白 ビ エ	173	6	676.9	104	19.9	134.7	95	硬
3. 那須5号	183	6	723.1	111	21.0	151.9	108	〃
肥 4. 赤ヒエ~1	176	8	759.0	117	19.1	145.0	103	中
5. 粟野在来	200	7	730.8	122	20.4	149.1	106	軟
6. 標飛驒在来	193	7	710.3	100	21.3	151.3	100	中
多 7. 白 ビ エ	196	6	743.6	105	20.3	151.0	100	硬
8. 那須5号	208	6	774.4	109	20.8	161.1	106	〃
肥 9. 赤ヒエ~1	211	7	787.2	111	18.8	148.0	98	中
10. 粟野在来	233	6	917.9	129	20.4	187.3	124	軟

(3) 畑での試験成績 (昭, 50. 本場)

(ア) 試験方法

播種期: 5月24日

播種量(kg/a): 400g (畦幅60cm, 播幅24cm)

施肥量(kg/a): N~1.0+0.6, P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>~2.0, K<sub>2</sub>O~2.0

(イ) 試験成績

項目 品種名	出穂期 (月・日)	草丈 (cm)	生草重 (kg/a)	同左標 比 (%)	乾物率 (%)	乾物重 (kg/a)	同左標 (%)
1. 標飛驒在来	9. 7	221	705.4	100	22.1	155.9	100
2. 白ヒエ	9. 7	228	798.3	113	22.8	182.0	117
3. 那須5号	9. 10	233	780.7	111	23.5	183.5	118
4. 赤ヒエ~1	9. 3	219	863.7	122	25.1	216.8	139
5. 粟野在来	9. 11	225	770.2	109	23.2	178.7	115

(4) 残された問題点

- ① 育苗様式の簡易化
- ② 移植期幅の拡大
- ③ 直播栽培体系の再検討

(5) 栽培上の留意点

- 1) 育苗期間が長いと草丈が伸び過ぎ、田植機の性能が落ちるので20cm以下に育てる。  
草丈が30cm以上のものは、頭刈りして草丈を調整しても機械植えができるが太くなりすぎて田植機の「かき出し」が悪く、欠株が多く出て減収する。
- 2) 収穫は1回刈りが一般的であるが、2回刈り栽培を行なうときは止葉抽出期~穂朶期までに刈取る。

なお、刈取り後は浅水として再成長をうながす。

(6) 適応地帯

県下全域